

19～20 年度 第 1 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 1 9 年 7 月 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ×神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○山上 ・○石内 (旧委員) ○種石		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 報告事項 ・自己紹介及び委嘱状授与 ・委員の名刺作成について → 全委員希望 ・各種報告 各種他団体講習会案内、会員増強パンフレット配布			
3. 議 題 (1) 前年度事業の引継ぎ			
・平成 1 8 年度の活動について決算総会議案書の抜粋をもとに説明。			
・平成 1 9 年度予算および事業について			
①「木造の構造計算と増築時の注意点」講習会 ※会員限定 → 早期に開催すべき。			
見込み収入 ￥280,000 (会員 80 名×3,500=280,000)			
支出 ￥180,000 (会場費、通信費、資料等印刷費、その他)			
②「定期報告業務のための講習会」(テキスト代別) ※会員限定 → 安全協会に依頼			
見込み収入 ￥360,000 (会員 80 名×4,500=360,000)			
支出 ￥180,000 (会場費、通信費、資料等印刷費、その他)			
③「電子入札・電子納品」研修会 ※会員限定 ((社)日事連分野別) → 時期をみて開催予定			
見込み収入 ￥15,000 (会員 1,000 円×15 名=15,000 円)			
支出 ￥10,000 (資料作成、会場費、講師料等)			
④「天空率についての研修会」(開催日時、内容未定) ※会員限定 → 11 月頃開催予定			
見込み収入 ￥420,000 (会員 120 名×3,500=420,000)			
支出 ￥180,000 (会場費、通信費、資料等印刷費、その他)			
⑤「19 年度技術研修会」(開催日時、内容未定) ※会員限定 → 今までの実績発表と P R			
見込み収入 ￥157,500 (会員 3,150 円×50 名=157,500 円)			
支出 ￥120,000 (資料作成、会場費、講師料等)			
⑥持続可能な建築技術の研究 (環境問題、省エネ、屋上緑化等) → テーマを決めて活動する。			
支出 ￥100,000 (資料収集等)			
⑦木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 意匠事務所のための資料収集			
支出 ￥50,000 (資料収集等)			
・木造住宅用の設計監理契約書約款作成			
・木造建築物の許容応力度計算の研修会、ソフトの研究等について			
・環境問題関連			

(2) 今年度の進め方について

- ・会議は年間10回程度で、移動委員会も開催予定。
- ・テーマ作りをし、担当者を決定していく。
- ・メール等での意見交換もしていく。
- ・開催は、基本的には第3木曜日とする。

(3) その他

- ・「アスベストに関する調査対応事務所名簿」の更新について
平成21年3月31日にて期限切れ
→ 今後検討していく。
- ・「建築物等の定期調査業務実施登録事務所名簿」の更新について
平成19年3月31日にて期限切れ
→ 1年間の延長を行うと共にメールアドレスは消去する。
- ・秦野市作成の確認申請のチェックリストを提出
意見として、県レベルで申請のチェックリストを作成しないと駄目では？
今後も動向を調査していく。
- ・「もったいない学会」 <http://www.mottainaisociety.org/> （白石委員より情報提供）
- ・EPRについて http://www007.upp.so-net.ne.jp/tikyuu/oil_depletion/netenergy.html

次回 平成19年 8月23日（木） 15:00～17:00 神事協会議室にて

19～20 年度 第 2 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 1 9 年 8 月 2 3 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○椋委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・×山上 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より 2. 報告事項 ・ウッドセミナー「木の魅力」、平成 1 9 年度「管理講習会」・「開設者研修会」案内配布し、受講のお願いをした。 ・各種パンフレット配布 ・前回議事録の確認 3. 議 題 (1) 各種講習会の開催について ・「木造の構造計算と増築時の注意点」講習会 午後半日講習とし、会員のみ対象とする。案内案を作成する。 開催予定日：平成 1 9 年 1 1 月 1 5 日 (木) 100 名程度(技能文化会館 or 開港記念会館) 講師：椋委員長及び荒谷委員 会費：3,000 円 (資料代込み) ・定期報告業務のための講習会 (8/24) 2 月開催を目標とし、安全協会で行ったものを基本として安全協会へ打診する。 打診した結果、法的な事は行政庁にお願いしたいとの回答でした。 また、講習時間は午後半日とし、具体的な打合せは必要。 ・「電子入札・電子納品」研修会 → 行政庁の様子を見ながら開催するか否かを決定する。 ・天空率についての講習会 JW-CAD を使用した研修(実例を使用した)を行うこととし、鶴見職業訓練校へ開催が可能か打診する。 (8/24) 打診した結果、P C は 1 0 台、1 日研修 (通常 9:00～16:00) で日程については、学生が使用していない空いている日になる。料金については、通常 2 日/人で 1,500 円。 ・1 9 年度技術研修会 (実績発表会等) → ブロック支部委員会の要望に応じて行う。 (2) 環境問題のテーマについて ・興味があつて、役に立つもの。 ・最終的には、個人の努力、意志となるが、ユーザーに対する提案が出来る資料となれば良い。 (データ作成、提案、事例発表) ・環境＝エネルギー問題 ・木造住宅に絞って環境問題を洗い出しする。 ・木造住宅の CASBEE の資料を樋口(雅)委員より提出いただき、CASBEE についての説明を聞く。 ・浜名湖の近くにある施設を訪ねてみては？、天竜の製材関係の話も聞いてみては？ (3) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 (木作り等) ・ソフトの一覧表を荒谷委員が作成する。(メーカー、価格、出きる事出来ない事等) (4) 木造住宅用の設計監理契約書作成について ・JIA 作成の資料および(社)日事連が以前作成していた資料を配布。今後検討していく。 (5) その他 次回 平成 1 9 年 9 月 2 0 日 (木) 15:30～17:00 神事協会議室にて			

19～20 年度 第 3 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 1 9 年 9 月 2 0 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・×荒谷 ・×山上 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より 2. 報告事項 ・各種報告 前回議事録配布 8/27 緊急拡大全国会長会議（改正建築基準法施行関係説明会）概要の資料配布 賛助会出前セミナー案内配布 ・天空率についての講習会（11月開催予定） 鶴見職業訓練校（担当：加藤氏）へ開催が可能か打診した結果、PCは10台、1日研修（通常 9:00～16:00）で日程については、学生が使用していない、空いている日になる。料金については、通常 2 日/人で 1,500 円。5 名以上～可能。 2 日で 1 セットの研修となっているが、天空率だけであれば 1 日のみも可能。ただし、申込は 2 日間連続の日程とし、別の人が受講しても良い。 現在の空き状況：11 月前半、12 月（講師の日程確保もあるので早めの対応が必要） テキスト：エックスナレッジ JW5（貸し出しのみ） ・定期報告業務のための講習会 2 月開催を目標とし、安全協会で行ったものを基本として安全協会へ打診した結果、法的な事は行政庁にお願いしたいとの回答でした。 また、講習時間は午後半日とし、具体的な打合せは必要。 3. 議 題 (1) 「木造住宅の N 値計算と増築時の注意点」研修会の運営について ・司会等のお手伝いについて → 次回へ (2) 建築における環境問題について ①木造住宅の CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）について (財)建築環境・省エネルギー機構より説明 運用開始：9/25～ 評価員講習：11 月下旬～ 対象：一級、二級、木造建築士 評価プログラムについては、ホームページよりダウンロード可の予定 ②環境問題のテーマ → 次回へ (3) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 荒谷委員欠席のため継続審議 (4) 木造住宅用の設計監理契約書作成について → 次回へ (5) その他 ・建築士事務所のキャンペーンへの委員派遣について → 次回へ 11/3 秦野会場 ・ 11/3～4 横須賀会場			
次回 平成 1 9 年 1 0 月 1 8 日 (木) 15:00～17:00 神事協会議室にて			

19～20 年度 第 4 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 1 9 年 1 0 月 1 8 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・×白石 ・×樋口(和) ・×山田 ・○樋口(雅) ・○ 荒谷 ・×山上 ・○石内		
1. あいさつ 棕委員長より 2. 報告事項 ・各種報告 ①国土交通省公表の「横浜市内の物件における構造計算書の偽装とその対応について」を踏まえ、更なる業務の厳正な執行について ②神奈川県主催の木造耐震診断実務講習会の案内配布 ③「建築物の構造関係技術基準解説」講習会の案内配布 ・前回議事録の確認 ・天空率についての講習会（1 1 月開催予定） 鶴見職業訓練校（担当：加藤氏）へ開催が可能か打診した結果、P C は 1 0 台、1 日研修（通常 9:00～16:00）で日程については、学生が使用していない、空いている日になる。料金については、通常 2 日/人で 1,500 円。5 名以上～可能。 2 日で 1 セットの研修となっているが、天空率だけであれば 1 日のみも可能。ただし、申込は 2 日間連続の日程とし、別の人が受講しても良い。 現在の空き状況：1 1 月前半、1 2 月（講師の日程確保もあるので早めの対応が必要） テキスト：エックスナレッジ J W 5（貸し出しのみ） → 1 月中に委員会で開催する方向で検討する。内容については、J W－C A D の使用方法を含めたものとし、2 日間講習等する。 ・定期報告業務のための講習会 2 月開催を目標とし、安全協会で行ったものを基本として安全協会へ打診した結果、法的な事は行政庁にお願いしたいとの回答でした。 また、講習時間は午後半日とし、具体的な打合せは必要。			
3. 議 題 (1)「木造住宅のN値計算と増築時の注意点」研修会の運営について 日時：平成 1 9 年 1 1 月 1 5 日（木）13:30～16:45 集合：会場へ 1 3 : 0 0（時間厳守） 会場：横浜市技能文化会館 8 0 2 大研修室 司会：神永委員 受付等手伝い：水野、白石、樋口(和)、山田、樋口(雅)、山上の各委員 配布資料については、11/8 までに事務局へ提出をお願いした。 ※申込をしていない委員は、必ず申込をお願いします。 (2) 建築における環境問題について（環境問題のテーマ） → 次回へ継続 (3) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 12 月の委員会時に荒谷委員が報告予定。 (4) 木造住宅用の設計監理契約書作成について → 次回へ継続 (5) その他 ・建築士事務所のキャンペーンへの委員派遣について 11/3 秦野会場：水野、樋口(雅)、石内 の各委員 11/3 横須賀会場：棕、樋口(和)、白石 の各委員 11/4 横須賀会場：神永、山田、樋口(和) の各委員			
次回 平成 1 9 年 1 2 月 2 0 日 14:30～17:00 会議終了後、忘年会開催 賛助会のビイック(株)を呼んで、始めの 30 分で説明を頂く。			

19～20 年度 第 6 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 1 9 年 1 2 月 2 0 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×山上 ・×石内		
1. あいさつ 棕委員長より			
2. 技術紹介 賛助会 ビイック(株)より 表面波探査法による地盤調査の説明			
3. 報告事項 ・各種報告 各種配布資料について ・前回議事録について確認 ・JW-CAD 勉強会 (1/23 および 1/30 月開催) 鶴見職業訓練校 (9:00～17:00) 料金：2 日/人で 1,500 円。 出席者名簿等を提出するため、要出欠確認。 出席：吉川、神部、根岸、神永、田部、水野、山田、磯部 欠席：樋口(雅)、棕、白石、樋口(和) ・「木造住宅のN値計算と増築時の注意点」研修会開催報告			
4. 議 題 (1) 2 0 年度予算案について (修正) ・下記のように修正する。 ①委員会開催 1 1 名×1 2 回 (延べ 132 名) ②定期報告業務のための講習会 (テキスト代別) ※会員限定 見込み収入 ￥360,000 (会員 80 名×4,500=360,000) 支出 ￥180,000 (会場費、通信費、資料等印刷費、その他) → ￥170,000 (会場費、配布資料作成、講師料、手伝い費、その他) ③天空率についての研修会 (開催日時、内容未定) ※会員限定 見込み収入 ￥420,000 (会員 120 名×3,500=420,000) 支出 ￥200,000 (会場費、通信費、資料等印刷費、その他) → ￥190,000 (会場費、配布資料作成、講師料、手伝い費、その他) ④持続可能な建築技術の研究 (環境問題、省エネ、屋上緑化等) 支出 ￥100,000(資料収集等) ⑤J W - C A D」研修会 (9:00～17:00×2 日間) ※会員限定 (神奈川県立鶴見職業技術校にて) 見込み収入 ￥40,000 (会員 20 名×2,000=40,000) 支出 ￥40,000 (会場費、通信費、資料等印刷費、その他) → ￥40,000 (会場費、配布資料作成、講師料、手伝い費、その他) ⑥2 0 年度技術研修会 (開催日時、内容未定) ※会員限定 見込み収入 ￥157,500 (会員 3,150 円×50 名=157,500) 支出 ￥120,000 (資料作成、会場費、講師料等) → ￥110,000 (会場費、配布資料作成、講師料、手伝い費、その他) ⑦木造住宅用の設計監理契約書作成等 支出 ￥50,000 (資料収集等)			

~~⑧木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究~~

~~支出 ~~¥50,000~~ (資料収集等) → 削除~~

(2) 建築における環境問題について

- ・環境問題のテーマ

「自立循環型住宅への設計ガイドライン」((財) 建築環境・省エネルギー機構 刊)

(3) 講習会の開催について

- ・天空率についての講習会 → 次年度へ
- ・定期報告業務のための講習会 → 次年度へ

(4) 木造住宅用の設計監理契約書作成について

- ・次回へ

(5) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究

- ・次回へ

(6) その他

- ・上原会長より挨拶および近況報告
- ・吉川副会長より近況報告

次回の開催 平成20年 2月 5日(火) 15:00~17:00 神事協会議室にて

19～20年度 第7回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成20年 2月 5日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・×樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・×山上 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より(近況報告含む) 2. 報告事項 ・配布資料について報告 「住宅瑕疵担保履行法」に係る現場審査検査員育成講習会の受講をお願いした。 ・修正の次年度予算案について、棕委員長より説明。 ・JW-CAD研修の報告(4月より東部総合職業技術校で開催可能) 山田委員及び神永委員より報告。 ・前回議事録の確認 3. 議 題 (1) 建築における環境問題について ・環境問題のテーマ「住宅」とした。 白石委員より資料の提出および説明。 参考図書「電球1個のエコロジー」 ・太陽光発電と太陽熱給湯についての話ができる方を次回白石委員が呼ぶこととした。 (2) 講習会の開催について ・天空率についての講習会(一般も含める) → 5月を開催目標とする。講師については、賛助会員(湘南建築センター or 日本 ERI)に依頼する。 また、開催後に JW-CAD の講習会(1日目:日影、2日目:天空率)を会員限定で7月～8月 で実施する。案内については、5月の講習会の時に配布したい。募集人数については、10人と し、数回開催を行う。 ・定期報告業務のための講習会(一般も含める) 150人規模の会場 → 4月中旬を開催目標とする。講師については、神奈川県建築安全協会にお願いする。 安全協会との打合せを2/14で打診する。(出席者:吉川副会長、磯部) 意見として ・講習内容は、注意点、変更点等と実際に実施した方の事例を用いたものとしたい。 ・実際の実施率は? また、実施率を上げるためには、何が必要か? ・「定期報告を行っています」マーク等の作成はできないか? (3) 木造住宅用の設計監理契約書作成について → 次回へ (4) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 次回へ (5) その他 ・「建築物等の定期調査業務実施登録事務所」名簿について 有効期限が、平成20年3月31日で切れるので対応は?(昨年延長している) → 講習会を開催し、再登録をする。現在の登録者についても登録必須研修会として受講が必要。 ・「アスベストに関する調査対応登録事務所」名簿について 有効期限は、平成21年3月31日となっている。(今後の対応は?) → 次年度考える。 ・珪藻土の資料を収集する。			
次回 平成20年 3月12日(水) 14:00～ 神事協会議室にて			
移動委員会日程:平成20年 4月17日(木) 箱根方面とする。			

19～20 年度 第 8 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録				
開催日時	平成 2 0 年 3 月 1 2 日 (水)	会 場	神事協会議室	
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・×白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・× 荒谷 ・×山上 ・×石内			

1. あいさつ 棕委員長より

2. 報告事項 ・「住・緑・家」コンペの登録事務所を募集中。登録をお願いした。
・3/19 予算総会（横浜市技能文化会館 多目的ホール）
総会前に土法改正の説明会があるので、参加をお願いした。
・当委員会だけではなく、会全体で実施する講習会を多数行うので、委員の方々にもお手伝いをお願いするので、宜しくお願いします。

3. 議 題

(1)「天空率についての講習会」実施について（日本 E R I ㈱横浜支店 寺越氏より）

名称：「基準法改正と天空率を学ぼう!!」講習会
日時：平成 2 0 年 5 月 1 9 日（月） 1 3 : 5 0 ～ 1 6 : 3 0 （予定）
会場：横浜市技能文化会館 2 F 多目的ホール 定員：2 0 0 名
講師：日本 E R I ㈱ 此川氏

手伝い：集合 1 3 : 0 0

- ・講習内容等について
天空率については、基本からの内容とし、基準法改正の部分も内容に入れる。
パワーポイント、プロジェクターを使用。
- ・資料については、実施の 1 0 日前までに送付いただく。
- ・一般も含めた講習とし、会費は、会員が 2,000 円、一般が 4,000 円とする。
- ・JW-CAD の講習会（天空率+日影）の実施については、4 月に調整する。（7～8 月実施予定）

(2) 講習会の開催について

- ・「定期報告業務のための講習会」
2/14 安全協会との打合せ実施結果を報告
- ・平成 2 0 年 4 月 1 日より規則が改正、施行される。2 月 2 7 日に建築についての説明会を国が行う。
(内容が明確に出ていない)
- ・変更内容については
設備関係が厳しくなり、大変である。例、データ（照度、一酸化炭素濃度、風速計等）
実際に調査を行った者の氏名を記入（責任の明確化）
告示にて調査方法を明記。調査様式、手法も指定され、全国統一となる。提出書類も多くなる。
- ・講習会の実施について
5 月末～6 月初旬に安全協会主催で設備も含めて講習会を実施する。（横浜を予定）参加して頂きたい。
講習会の実施については、協力を頂ける。

上記内容を踏まえ、事務所協会としては、6 月～7 月で実施を要望する。

(3) 木造住宅用の設計監理契約書作成について → 次回へ

(4) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 次回へ

(5) 建築における環境問題について（(株)MSK 「太陽光発電等について」） → 中止

(6) その他

次回 移動委員会日程：平成 2 0 年 4 月 1 7 日（木） 箱根方面とする。（担当：山田委員）

19～20 年度 第 9 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 4 月 1 7 日 (木)	会 場	小田原一箱根
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ×神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・×荒谷 ・×山上 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 報告事項 ・ 前回議事録の確認 ・ 各種報告 CASBEE 講習会の案内等配布 ・ 「管理建築士講習」について 9 月下旬よりみなし講習会を実施する予定ですので、協力および申込みをお願いした。 ・ 士法改正後の建築士事務所として行わなければならないことについて(県作成パンフより) 年次報告、事務所標識板の追加事項、図書の保存(15 年)、書面の交付等 ・ 「天空率についての講習会」実施運営の確認(次第) 司会：神永委員にお願いする。また、申込みをしていない方は、申込みをお願いした。			
3. 議 題			
(1) <会員限定>「建築物の定期報告・定期調査および定期検査」講習会開催について			
日 時：平成 2 0 年 6 月 2 5 日(水) 9:30～16:45 会 場：神奈川県民ホール 6 階 大会議室 定員：2 0 0 名 受講料：1 2, 5 0 0 円(前回より高いのは、テキストの料金が値上げされたため)			
・ 講師：(財)神奈川県建築安全協会、(有)東京建物検査事務所 望月 利一氏			
・ 集合：9：0 0 (現地集合)			
・ 前回同様、受講者(一級建築士事務所のみ)に対して登録者名簿を作成する。講習案内と共に登録要綱を配布する。(前回登録していた方も、受講と申込みがない場合は、掲載しない。)			
(2) 講習会の開催について			
・ JW-CAD の講習会(天空率+日影)の実施について(7～8 月実施予定)			
・ 神奈川県東部総合職業技術校(かなテクカレッジ)担当：建築学科 加藤 葉子氏(045-504-2800) 4 月より開校したばかりなので、様子が不明である。ただ、土日の開催も可能である。 講師の都合もあるので、提案を頂くこととした。			
(3) 木造住宅用の設計監理契約書作成について → 次回へ			
(4) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 次回へ			
(5) その他			
次回 平成 2 0 年 5 月 1 5 日(木) 14:00～17:00 神事協会議室にて 前回中止となった建築における環境問題について((株)MSK 「太陽光発電等について」)を白石委員にお願いする。			

19～20 年度 第 1 0 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 5 月 1 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×山上 ・○石内		
1. あいさつ 吉川副会長より 5/23 の総会への出席をお願いした。			
2. 報告事項 ・前回議事録の確認 ・各種配布パンフレット等を説明。 ・「天空率についての講習会」実施運営の確認 (次第) 手伝い：1 3 : 0 0 に現地集合 ・5/15 現在の「管理建築士講習」の日程について (9/17、11/17、11/25) 手伝い等についてもお願いした。また、会員が早く受講することをお勧めした。			
3. 議 題 (1) <会員限定>「建築物の定期報告・定期調査および定期検査」講習会開催について			
日 時：平成 2 0 年 6 月 2 5 日 (水) 9:30～16:45 会 場：神奈川県民ホール 6 階 大会議室 定員：2 0 0 名 ・司会：神永委員 ・手伝い等：9 : 0 0 に現地集合			
・「建築物等定期調査業務実施登録事務所」要綱の修正について 現状に合っていない部分について下記を修正および削除する。			
2. 登録資格 ①本会が実施し、技術調査委員会が指定する講習会(以下、「指定講習会」という。)及び登録者用研修会等を受講した者。			
3. 登録方法・申請方法 ②登録希望者は、本会が実施する指定講習会及び登録者用研修会等への申込み時もしくは、受講後に申込むものとする。 ③登録事務所は、 理事会の承認を得た後、 「技術調査委員会」が「建築物等定期調査業務実施登録事務所名簿」として編纂するし、 理事会へ報告する。			
4. 登録期間等 ②登録有効期間及び更新 登録有効期間は、 2 年度 とし、 2 年度 毎に更新する。			
5. 講習会 ①新規及び更新登録者は、本会が実施する指定講習会を 1 年に 1 回以上受講すること。			
・安全協会 (増尾氏より) との最終打合せ 6/4 以降でお願いしたいとの連絡があり、吉川副会長及び棕委員長の予定を合わせて打合せ日を決定する。			
(2) 講習会の開催について			
・JW-CAD の講習会 (天空率＋日影) の実施について 神奈川県立東部総合技術校の加藤様より、日曜日の開催であれば可能との連絡があったが、日曜日の開催は、難しい。実施については、会場の都合もあるので、様子を見て決定することとした。			
(3) 木造住宅用の設計監理契約書作成について → 次回へ			
(4) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 次回へ			
(5) 建築における環境問題について			
・(株)MSK 黒田氏、加藤氏より「太陽光発電等について」説明			
(6) その他 ・S 造、R C 造の構造部会と設備関係の部会を立ち上げたい。			
次回 平成 2 0 年 6 月 1 9 日 (木) 15:00～ 神事協会議室			

19～20 年度 第 1 2 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 8 月 2 0 日 (水)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・×山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・×石内		
1. あいさつ 棕委員長より			
2. 自己紹介			
3. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ C P Dについて、登録方法等を説明。 ・ ウッドセミナーの周知及び参加のお願いをした。 ・ 研修ポイントカード作成について 受講料とテキスト代（資料代含む）を別に決めることとした。			
4. 議 題			
(1)「管理建築士講習」に係る手伝いについて			
①9/5 講習実施説明会、参加をお願いした。			
②講習会実施の手伝い：9/26：神永、樋口(和)、荒谷			
③9/16～9/26（9/17 及び土日祭日を除く）受付業務について（時間：9:00～17:00）			
9/16：荒谷、有泉、棕（午後のみ）			
9/18：棕（午前のみ）、樋口(雅)（午前のみ）			
9/24：樋口(和)			
9/25：神永、白石			
9/26：水野			
(2)「建築物の定期報告・定期調査および定期検査」について			
・腕章の作成について			
色：ワインレッドに白文字			
枚数：300 枚と 500 枚			
名称：建築物調査員 (社)神奈川県建築士事務所協会名を入れる。			
材質：綿生地でビニールコーティング 紐付き			
上記内容で見積もりを取る。			
(3) 講習会の開催について			
・ JW-CAD の講習会（天空率＋日影）の実施について（実施時期について）			
→ 1 0 月を移動委員会とし、天空率のみ 1 日講習としてもらう。日程調整を行う。			
(4) 木造住宅用の設計監理契約書作成について			
・ 木造住宅用の設計監理契約書作成も含めて、設計事務所として行なわなければならない書類等（必要な書類、備え付ける書類等）の整備をする。（見本も作製する。）			
・ (社)日事連作成の業務書式を利用し、エクセルで作成する。			
(5) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究			
・ ソフトとして有力なものは 5 本あり、料金は、1 3 万～6 0 万円程度である。			
木づくり：6～7 割のシェア。料金 35 万。概要書も印刷できる。ただし、整形のもののみ計算可。			
ホームズ君、木三郎、構造システム、エフデザイン（富士通）			

- ・金物の計算が出来れば良いのでは？
あとは、伏図、スパン表（垂木、梁等）を利用すれば良い。
- ・ソフトの特徴、長所、短所について、荒谷委員が資料を作成し、10月の会報へ掲載する。

（6）建築における環境問題について

- ・参考資料として、東京会の会報の抜粋を配布。

①セミナーの実施も今後考えていく必要がある。
例えば、実践している所の人等を講師とするもの。
研究所関係の話は、堅すぎて駄目では？

②特定行政庁で行っている CASBEE のポイントをホームページ等で紹介しては？

③テーマ（興味のあるテーマを設定する）

- ・住宅でも取り込める省エネ技術について
- ・仕事に生かせる技術について
- ・エネルギーからみた建材の選び方（長寿命化）
- ・屋根材、断熱材（種類と構法）、太陽光給湯、木材、循環型住宅、脱着式サッシ等 細かいテーマが出された。

上記のような意見があり、今回は「屋根」をテーマとする。

<宿題>

屋根を環境テーマとしたので、資料を各委員で収集し、次回に提出する。

- ・本の紹介：「ほんとうの環境問題」1,000 円（著者：池田清彦、養老孟司）
- ・当会で本（参考書）を購入する。購入する本に関しては、白石委員より指示を受ける。

（7）その他

①森林循環フェア 2008 のお手伝いについて（11/14～11/16 時間：9:30～17:00）

内容：建築相談（新築相談、リフォーム相談等）

11/14：神永、有泉

11/15：棕、白石

11/16：なし

次回 平成20年 9月18日（木） 15:00～17:00 神事協会議室にて

19～20 年度 第 1 3 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 9 月 1 8 日 (木)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×吉川 昭 ・○棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・×樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・×石内		
1. あいさつ 棕委員長より			
2. 各種報告 ・前回議事録の確認			
・研修ポイントカード作成について、1 0 月に配布予定である旨報告。 また、ウッドセミナー参加者よりポイントが発生する。			
・「管理建築士講習」に係る手伝い等について 受付業務の手伝いのスケジュール表を配布、担当の日の確認をお願いした。 また、受付期間より先に終了した場合等は、担当者に連絡する。 講習会運営については、F A X にてお知らせする			
3. 議 題			
(1) 「建築物の定期報告・定期調査および定期検査」について			
・腕章の作成について（見積書配布）			
1 色プリント（生地：木綿、ビニールカバー付 仕立て：ハトメ、ひも付き）			
300 枚 × 560 円＝168,000 円（税込み 176,400 円）			
500 枚 × 490 円＝245,000 円（税込み 257,250 円） → 採用案			
販売：800 円／枚（税込み）			
1 0 月の理事会にて提案する。			
・I D カード案作成 担当：白石委員 → 現在案を作成中。次回へ			
(2) 講習会の開催について			
・JW-CAD の講習会（天空率）の体験実施について			
第 1 回開催日：平成 2 0 年 1 0 月 2 2 日（水） 8：5 0 ～ 1 6：1 0			
出席者：棕、水野、山田、有泉、西山 （5 名）			
第 2 回開催日：平成 2 0 年 1 0 月 2 8 日（火） 8：5 0 ～ 1 6：1 0			
出席者：吉川、白石、神永、樋口（和）、樋口（雅）、荒谷 （6 名）			
・受講料として、1 名 1,000 円を徴収する。			
(3) 建築における環境問題について			
宿題：屋根を環境テーマとしたので、資料を各委員で収集及び提出			
→ 水野、白石、樋口(雅)、有泉の各委員より提出あり			
・提出した資料を提出者より説明。			

< 次回の宿題 >

- ・壁及び開口の資料を各委員で収集及び提出のこと。
引き続き、屋根についてもあれば併せて提出をお願いした。

(4) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究

- ・荒谷委員より中間報告あり。
- ・N値計算のみのソフトは図化できない。
- ・壁量計算、図面作成、一貫計算が出来るものに分類する。
- ・N値：10万円前後
一貫：25万円以上

(5) 設計事務所として行なわなければならない書類等（必要な書類、備え付ける書類等）の整備について
（木造住宅用の設計監理契約書作成含む）

→ 次回へ

(6) その他

次回 平成20年10月16日（木） 15：00～ 神事協会議室にて

開始時間については、勉強会があった場合は変更する。

19～20 年度 第 1 4 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 1 0 月 1 6 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・×山田 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・×石内		
1. あいさつ 棕委員長より 2. 各種報告 ・前回議事録の確認 ・「建築物調査員」の腕章作成について（理事会にて作成承認） (社)神奈川県建築士事務所協会会員ではおかしいので、(社)神奈川県建築士事務所協会とし、発注する。 3. 議 題 (1)「建築物の定期報告・定期調査および定期検査」について ・ I D カード案作成について、担当の白石委員より資料の見本の提出及び説明があった。 上記案を修正し、再度の案を提出していただく。 また、作成費として 200 円程度の料金で募集する。（写真データはメールで送付願う） → 印刷屋で作成した場合の費用を聞く。 (2) 講習会の開催について ・ JW-CAD の講習会（天空率）の体験実施について（会費 1,500 円／人） 第 1 回開催日：平成 2 0 年 1 0 月 2 2 日（水） 8：5 0 ～ 1 6：1 0 出席者：棕、水野、山田、有泉、西山 （5 名） 第 2 回開催日：平成 2 0 年 1 0 月 2 8 日（火） 8：5 0 ～ 1 6：1 0 出席者：吉川、白石、神永、樋口（和）、樋口（雅）、荒谷 （6 名） 集合：J R 鶴見駅 2 F 海側改札前集合（8:10～8:15 頃）、昼食も各自用意してくること。 上記受講後に開催日程を決定する。 (3) 建築における環境問題について（宿題：壁及び開口を環境テーマとしたので、資料を各委員で収集） ・ 神永、白石、有泉委員より資料の提出あり、説明。 ・「熱損失係数から何がわかるか」、「東大泉の家 温熱簡易シミュレーション」 ・「ベストクール」 ・「日本板硝子 真空ガラス」、「トステム 防音断熱内窓」 引き続き、壁及び開口、屋根についても資料収集 (4) 次年度事業計画案について ①委員会開催 1 2 回 ②「定期報告業務」実務研修会 ③JW-CAD の研修会（日影図＋天空率） ④「持続可能な建築技術」見学会 ⑤技術研修会			

(5) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究

- ・荒谷委員より資料の提出あり、説明。
- ・図面まで書けるソフトは、一貫計算ソフトのみである。
木づくり、HOUSE-ST1、ストラデザイン

(6) 設計事務所として行なわなければならない書類等（必要な書類、備え付ける書類等）の整備について（木造住宅用の設計監理契約書作成含む）

→ 次回へ

(7) 事務局移転に伴うレイアウト等の提案について

- ・事務局長より資料の配布、説明等があった。
- ・事務局長より現在の事務所備品について、白石委員へデータを送付する。
- ・白石委員の案を出来次第、メールにて各委員へ送付する。

(8) その他

①キャンペーン事業への委員派遣について

日時：平成20年11月 8日（土）～ 9日（日） 10:00～16:00
会場：相鉄線・小田急線 大和駅西口プロムナード（3ブース）

8日：白石、樋口(和)
9日：水野

②構造／設備一級建築士について

- ・スキルアップセミナーの実施（特に設備の資格取得のためのセミナー）
- ・設備の専門家の把握（横浜で設備事務所の集まった会があるようだ）

次回 平成20年11月20日（木） 14:00～ 神事協会議室にて
冒頭の1時間か、終了前の1時間に、賛助会のセミナーが入る。

19～20 年度 第 1 5 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 1 1 月 2 0 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・×樋口(和) ・×山田 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×有泉 ・×石内		
1. あいさつ 棕委員長より 2. 各種報告 ・配布資料について説明 ・前回議事録の確認 ・「建築物調査員」の腕章作成について、11/20 に完成。800 円／枚で販売する。 また、宣伝のためにホームページに掲載すると共に申込書を作成し、1 2 月の会報に同封する。 3. 議 題 (1) 「建築物の定期報告・定期調査および定期検査」について ・ I D カード案作成 担当：白石委員 イメージをメールにて送付していただく。 ・作成費用については、次回検討する。 (2) 講習会の開催について（内容、開催時期） ・ JW-CAD の講習会（天空率＋日影）の開催について 2 月で空いている日程を聞く。1 週に 1 回とし、2 週で 1 セットとなるような日程とする。 募集人員：1 5 名 費用：1, 5 0 0 円 (3) 建築における環境問題について 宿題：壁及び開口を環境テーマとしたので、資料を各委員で収集 引き続き、屋根についても資料収集 ・白石委員より 1 1 月号会報の記事について説明。 (4) 次年度事業計画・予算案について → 委員長に一任とした。 (5) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究 → 完了 ・荒谷委員より前回まとめていただいた資料をデータでもらいホームページへ掲載する。 (6) 設計事務所として行なわなければならない書類等（必要な書類、備え付ける書類等） の整備について （木造住宅用の設計監理契約書作成含む） → 次回へ (7) 賛助会セミナー 16:00～17:00 ・シバタ工業(株) 齋藤氏より、屋根の防水工法選択のポイント及び屋上緑化等について説明をされた。 (8) その他 ①見学会実施について (世田谷の物件) 1 月末～2 月上旬頃 次回の委員会にて決定する。 (鎌倉の事例) オーストリア人 自然の住まい ②事務局のレイアウト案について、白石委員より説明。2 案を新たに作成していただくこととした。			
次回	平成 2 0 年 1 2 月 1 8 日 (木) 14:00～ 神事協会議室にて 会議終了後に忘年会を実施。 冒頭の 1 時間か、終了前の 1 時間に、賛助会のセミナーが入る。		

19～20 年度 第 1 6 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 0 年 1 2 月 1 8 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○椋委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・×有泉 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 参考配布資料の説明 ・ 一級建築士免許の携帯型への変更についての案内を配布 ・ 管理建築士講習の周知をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 次年度事業計画・予算案の修正について → 修正なし			
①委員会開催 11 名×15 回×2,500 円 ②定期報告業務の講習会 収入 2,100 円×70 名=147,000 円 支出 90,000 円 ③JW-CAD 研修会 収入 1,500 円×15 名=22,500 円 支出 22,500 円 ④2 1 年度技術研修会 収入 2,100 円×50 名=105,000 円 支出 80,000 円 ⑤見学会(持続可能な建築技術) 収入 2,100 円×20 名=42,000 円 支出 110,000 円 ⑥構造部会設置(一級構造建築士の研修研鑽) 収入 5,000 円×20 名=100,000 円 支出 60,000 円 ⑦木造住宅用契約書の作成 支出 50,000 円			
(2) 講習会の開催について(内容、開催時期)			
・ JW-CAD の講習会(天空率+日影)の開催について ・ 開催日候補: 2 月 3 日、1 0 日(全て火曜日)の 2 日間 定員: 1 5 名 会費: 2,000 円/人 案内(案)を作成し、各委員へ送付し、確認いただく。 注意事項として、昼食の用意をお願いする。			
(3) 建築における環境問題について			
宿題: 壁及び開口を環境テーマとしたので、資料を各委員で収集 引き続き、屋根についても資料収集			
・ 壁面利用の太陽電池について山田委員が資料配布 ・ JABS 建築雑誌「環境共生を巡る 7 つの論点」の資料を椋委員長が配布及び説明 ・ 屋根材についての資料を水野副委員長が配布及び説明			
次回は、宿題なし。			
(4) I D カード作成について (案作成 担当: 白石委員)			
・ データは事務局に送付してもらう。(ソフト: アドビ イラストレーター) また、データの管理も事務局で行う。 ・ 会員のみ作成。所員については、別に考えることとした。 ・ 青: 1 級、黄: 2 級、黒: 木造とした。 ・ 印刷については、印刷業者と相談する。(値段、方法等を含む)			
(5) 設計事務所として行なわなければならない書類等(必要な書類、備え付ける書類等) の整備について (木造住宅用の設計監理契約書作成含む)			
・ (社)日事連の業務書式モデル集を改定中(12/18 完成予定) 出来上がったものを見て判断する。			

(6) その他

①事務局レイアウトについて

- ・サロンの使用を目的とするので、7案でお願いします。
- ・サロンには、建築雑誌と工学図書を置きたい。また、古い本（資料として利用）も置きたい。
- ・セキュリティについては、監視カメラ等で対応できる。

②技術委員会＋見学会について

平成21年1月24日（土） 集合：小田急線梅ヶ丘駅改札 13:00～
「自然の住まい ピュアウッド事例」（梅ヶ丘の家、鎌倉の家）見学会

19～20 年度 第 1 7 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 月 2 4 日 (土)	会 場	梅ヶ丘～鎌倉
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・×山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 各種報告 ・前回議事録の確認			
3. 議 題			
(1) 講習会の開催について (内容、開催時期)			
・ JW-CAD の講習会 (天空率+日影) の開催について 開催日：2 月 3 日及び 1 0 日 (火曜日) の 2 日間 定員：1 5 名 すでに定員に達しているが、次の開催希望が多いので年度内に開催するか否か？ → 4 月の日程を問い合わせることとした。			
(2) 設計事務所として行なわなければならない書類等 (必要な書類、備え付ける書類等) の整備について (木造住宅用の設計監理契約書作成含む)			
・ (社)日事連の業務書式モデル集を改定版完成 委託・受託書等の書類が無くなったため、小規模建築用が必要になった。 → 次回へ			
(3) 建築における環境問題について			
・「ピュアウッドで建てる自然の住まい」事例見学 説明者：マテー氏			
①梅が丘の家 (地引邸) アービア設計事務所 (設計監理)			
建て方完了時のピュアウッド躯体を見学 (2009.5 竣工予定) 厚さ 190mm 無垢の木造壁+外断熱 60mm+通気層による高断熱、高気密住宅の省エネルギー住宅。			
②鎌倉の家 (高松邸) 自然の住まい+白石梢 (アービア設計事務所 構造設計)			
厚さ 300mm無垢の木造壁+外断熱 140mmによるゼロエネルギー住宅を目指した住宅。 太陽光給湯、太陽光発電、クールチューブ、壁輻射暖房、その他を実施。 無垢素材での風呂、手洗いなども見学。			
(4) その他 → なし			
次回、平成 2 1 年 2 月 1 9 日 (木) 1 4 : 0 0 ～ 神事協会議室にて			

19～20 年度 第 1 8 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 2 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・×棕委員長 ・○水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×有泉 ・×石内		
1. あいさつ 吉川副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ JW-CAD の講習会（天空率＋日影）の開催報告 ・ 工事監理ガイドライン（案）について（吉川副会長より説明） ・ 住宅瑕疵担保履行法に基づく設計施工基準について（保険会社 5 社の比較） 保険会社によって内容が多くなっている場合もあるので、要注意。 ・ 「別荘建築見学 in 葉山」が 3 月 1 4 日に開催されるので、参加をお願いした。			
3. 議 題			
(1) 講習会の開催について（内容、開催時期）			
・ JW-CAD の講習会 ①天空率＋日影（希望あり） ②初心者向け（希望あり） ③中級者向けも開催したらどうか？ 開催日：4 月を打診中 定員：1 5 名 会費は、前回同様 2,000 円／人とする。 ・ 回答を待つて開催の日程を調整する。			
(2) 設計事務所として行なわなければならない書類等（必要な書類、備え付ける書類等） の整備について （木造住宅用の設計監理契約書作成含む） ・ (社)日事連の業務書式モデル集を改定版完成 委託・受託書等の書類が無くなったため、小規模建築用が必要になった。 ・ 設計監理・確認申請手続委託書／受託書等の資料提出あり（水野副委員長より説明） 平成 1 2 年より作成し、覚書として使用している。 ・ 建築基準法違反による反則点数についての一覧作成			
(3) 建築における環境問題について ・ ピュアウッドについては、他の団体等（県木連）も興味を持ったようである。 ・ 電磁波問題の対策について			
(4) その他 ・ なし			
(5) 賛助会セミナー （阿部興業株） ①ウッドパーテーションについて（移動商品展示車輛にて） 青森県産のヒバ材を使用したものもある。環境問題にも力を入れている。 ②ハートフルシリーズについて（老健施設向けの枠と建具が一体となったユニット商品等） その他、和室のふすま、障子等々も扱っている。			
次回、平成 2 1 年 2 月 1 9 日 (木) 1 4 : 0 0 ～ 神事協会議室にて			

19～20 年度 第 1 9 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 3 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ×吉川 昭 ・○棕委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・×白石 ・×樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・×有泉 ・×石内		
1. あいさつ 棕委員長より 2. 各種報告 ・前回議事録の確認 ・3/23 予算総会への出席をお願いした。 ・他団体講習会等の案内を配布 3. 議 題 (1) 講習会の開催について (内容、開催時期) ・JW-CAD の講習会 ①天空率+日影 (希望あり) ②初心者向け (希望あり) ③中級者向けも開催 → レベル設定が難しいが、実践向けで例題を多くやるような内容 (例、高低差ありの建物等) 開催希望：5～6 月を打診中 → 回答待ち 定員：1 5 名 会費：2,000 円／人 (2) 設計事務所として行なわなければならない書類等 (必要な書類、備え付ける書類等) の整備について (木造住宅用の設計監理契約書作成含む) ・重要事項説明についての書類は整備されている。 ・工事監理ガイドライン (案) の精査が必要 (告示 1 5 号との整合性) ランク別の工事監理の業務量 (A、B、C ランク等に分ける) の整理 前回作成した木造工事監理の見直し ・委託、受託書等の書類が無くなったため、小規模建築用が必要。 → 約款の内容が大事。特に解約条件、料金の支払について (3) 建築における環境問題について ・資料の提出なし。次回へ (4) その他 → なし (5) セミナー (富士川建材) 山田委員より紹介 ・左官材料について 弾性下地調整モルタルについて 内・外装製品の紹介等			
次回 移動委員会開催 予定：平成 2 1 年 4 月 1 7 日 (金) ～1 8 日 (土) 会場：県西方面 開催について、メールにて意見と出欠を確認する。			

19～20 年度 第 2 0 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 21 年 4 月 17 日(金)～18 日(土)	会 場	箱根強羅等
出席者 (○)	担当副会長 ○吉川 昭 ・○椋委員長 ・×水野副委員長 (委員) ○神永 ・○白石 ・○樋口(和) ・○山田 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・×有泉 ・×石内		
<施設見学等> <会 議> 1. あいさつ 吉川副会長より 2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 他団体講習案内等を配布 3. 議 題 (1) 講習会の開催について (内容、開催時期) ・ JW-CAD の講習会 ①天空率＋日影 ②初心者向け (希望あり) 開催希望：5～6 月を打診中 定員：15 名 ・ 5 月開催は無理なので、再度、神奈川県立東部総合職業技術校 担当：加藤氏と日程調整を行う。 (担当：磯部) (2) 設計事務所として行なわなければならない書類等 (必要な書類、備え付ける書類等) の整備について (木造住宅用の設計監理契約書作成含む) ・ 約款の作成について (3) 建築における環境問題について ・ 資料の提出なし。次回へ (4) 木造建築物の許容応力度計算ソフトの研究成果のホームページ掲載について ・ 現在、各ソフト会社に会員価格の設定等をお願いしているので、その回答を待って掲載することとした。 (5) その他			